5／26（金）南谷清掃

五重塔クリーン作戦

5/28付

荘内日報より

6年

太谷怜央さん

親子のインタビューが

記事に登場

伝統の「南谷清掃」に汗

羽黒一小として最後の活動

羽黒山のお膝元、鶴岡市立羽黒第一小学校（土井浩貴校長、児童49人）伝統の「南谷清掃」が26日、羽黒山中の現地で行われた。南谷は江戸時代に出羽三山を訪れた松尾芭蕉が宿泊した別院柴苑寺跡の名所で、清掃は戦前から続く学校の伝統行事。同校は来年度に学校統合を控え、「羽黒一小」として最後の活動に親子が汗を流した。

出羽三山や国宝五重塔など羽黒山の歴史や古くから伝わる文化遺産に触れ、古里への関心を持ち郷里を大切にする心を育もうと毎年、全校挙げた活動として実施。羽黒一小は児童数減少に伴う市学校適正配置基本計画で来年度から羽黒二小との統合が決まっている。

この日は全校児童のほか、保護者や出羽三山神社、南谷の保全活動などを行っている地元のNPO「蜂子山社中」のメンバーらも参加。高学年は熊手を持って羽黒山の石段を上り、1、2年生17人は五重塔周辺のクリーン作戦、3年生以上の32人は三の坂近くから400㍍ほど山中に入った南谷で事前に草刈りをした草や落ちた松の枝などを掃き集め、もっこで運搬する作業を繰り返した。

この日は心配された雨も降らず、青空が広がる天気に。鳥のさえずりやカエルの鳴き声が響く中で、子どもたちは協力しながら1時間ほど作業した。

6年生の太谷怜央さん(11)は「最後の学年なのでいつもよりきれいになるように丁寧に取り組んだ。南谷は羽黒山の名所なので清掃は続けてほしいな」と話し、父親の会社員、光一さん(37)は「自分が子どもの頃はお弁当を持ってきて一日作業だった。当時は全校で100人ぐらいいて。時代を感じる」と話していた。

下草刈りした草や枯れた松葉を拾い集める子どもたち

5/27付　山形新聞より

2年小林茉緒さんの

インタビューが記事に

登場

児童が次々とごみを拾い集めた清掃活動＝鶴岡市・羽黒山

両手いっぱい ごみ拾い

鶴岡・羽黒一小児童 五重塔周辺と南谷

鶴岡市羽黒一小（土井浩貴校長、49人）の児童が26日、同市の羽黒山で清掃活動をした。

2グループに分かれて取り組んだ。1、2年生は国宝・羽黒山五重塔周辺を担当。参道に落ちているスギの枝などを、しゃがみながら両手いっぱいに拾い集め、次々とごみ袋に入れていた。2年の小林茉緒さん(7)は「家族と何回も来た羽黒山をきれいにできて良かった」とはにかんだ。

3年生以上は中腹の「南谷」を清掃した。

歴史ある羽黒山での清掃活動を通じて郷土愛を高め、奉仕の心を育てようと同校が毎年行っている。

羽黒一小の頑張りは注目されています!!